

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

メイクアップアーティスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション		クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		田中 みゆき				
		実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。		
目的及び概要		現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。				
到達目標		Wordで表現力のある文書を作成することができる 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける プレゼン資料を作成できる				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		Office2016(実教出版 1年次使用)				
＜授業計画＞		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	iPadでお礼状の作成	お礼状の作成			
第2回	2	Gmailとドライブ活用	メールの作成 添付ファイル Googleドライブの活用			
第3回	3	表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	表現力のある文書の作成	Word 図や図形を活用した文書の作成			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果 アニメーション効果 印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル 関数 表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用 ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	招待状を作成しよう	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	試験対策	Word 試験対策			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り			
初回持ち物		iPad、筆記用具				
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト		○	実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション		クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		田中 みゆき				
		実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。		
目的及び概要		Word、Excel、PowerPointの応用機能の学習して、活用方法を学びます。				
到達目標		図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		Office2016(実教出版)				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	罫線を活用してカード作成	Word 差し込み印刷 予約カード作成			
第3回	3	作表とワークシートの操作	Excel 予約表作成、ワークシートの操作			
第4回	4	プレゼン作成	PowerPoint復習			
第5回	5	画像の編集と加工	Officeのフォトレタッチ機能			
第6回	6	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第10回	10	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第11回	11	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 宛名ラベル作成			
第12回	12	試験対策	Excel 試験対策1			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策2			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と後期の振返り			
初回持ち物		USB、筆記用具				
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト		○	実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシュヤーズスキル		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか／マズローの欲求段階説				
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは				
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)				
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)				
第5回	5		クレーム対応／クレームの考え方				
第6回	6	メンタルヘルス コントロール	そもそもストレスとは？ストレスの捉え方				
第7回	7		ストレスの受け取り方／受け流し方を知っておこう				
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①				
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②				
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう				
第11回	11	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①				
第12回	12		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②				
第13回	13		言葉選びと伝え方				
第14回	14	試験	期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説／FB				
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		フレッシュヤーズスキル		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		宮崎 愛子					
		実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要		1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標		・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし（適宜プリントを配布）					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い／社会人の評価基準				
第2回	2		信用と信頼／仕事を任せてもらえる人材になるために				
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する				
第4回	4		傾聴力レッスン／ベネフィットを引き出すロールプレイング①				
第5回	5		傾聴力レッスン／ベネフィットを引き出すロールプレイング②				
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る				
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①				
第8回	8		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②				
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①				
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②				
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう				
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう				
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える				
第14回	14	試験	後期 期末試験				
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ				
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		就職ガイド			クラス名	R2D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		新山 和子・大内 博子					
		実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要		就職活動で必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標		就職活動を通じて、社会人としての理解を深め意識、心構えが出来るようになる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	就職活動進捗確認	就職活動進捗確認				
第2回	2	オンライン/印象	オンラインの仕方/第一印象の重要性				
第3回	3	就職活動マナー	カバーレター・封筒の書き方・ビジネスメール				
第4回	4		ビジネス電話について(掛ける/受ける)				
第5回	5		報連相、オフィスマナー				
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッションについて				
第7回	7		グループディスカッション練習				
第8回	8	一般常識	一般常識問題について(計算)				
第9回	9		一般常識問題について(漢字)				
第10回	10	時事問題	社会問題について				
第11回	11	社会人マナー	暑中・残暑見舞い、年賀状				
第12回	12	ハラスメント	ハラスメント(パワハラ・カスハラ)・動画				
第13回	13	プロ・アマ	プロとアマチュアの違い				
第14回	14	見つめなおす	エゴグラム・上司との付き合い方				
第15回	15	夢・目標	目標を叶えるために				
初回持ち物		筆記用具・就職ファイル・タブレット					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	R2D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める (R2A: 月1限／R2C: 水2限／R2D: 火1限／R2E: 木3限／R2F: 木3限)					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出				
第2回	2		マシュマロチャレンジ				
第3回	3	FUSに向けて	FUSについてアンケート(どのようなショーにしたいか)				
第4回	4		FUSについて内容				
第5回	5	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)				
第6回	6		競技について話し合い				
第7回	7		競技について話し合い				
第8回	8	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーション				
第9回	9		クラスコミュニケーション				
第10回	10	学園祭	学園祭について(出し物候補)				
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)				
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)				
第13回	13	期末試験について	夏休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校につい				
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会				
第15回	15	アンケート／振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り				
初回持ち物		iPad					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	R2D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	目標・FUS	後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴				
第2回	2	FUS	FUSについて				
第3回	3	学園祭	企画書作成 / 概要詳細決め				
第4回	4	学園祭	ルール説明				
第5回	5	学園祭／スポーツ大会	概要説明				
第6回	6	スポーツ大会	出場競技決め				
第7回	7	スポーツ大会	ルール説明				
第8回	8	FUS	演出について				
第9回	9	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め				
第10回	10	FUS	個人コンセプトシート作成・提出				
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン				
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン				
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン				
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン				
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート				
初回持ち物		AIEノート、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		皮膚科学			クラス名	R2D	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		1年でやった内容に加え、トラブル肌に関しての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標		お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		②皮膚科学					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	内臓と肌	内臓と肌				
第2回	2	血液循環と肌	血液循環と肌				
第3回	3	栄養と肌	栄養と肌				
第4回	4	生活習慣と肌	生活習慣と肌				
第5回	5	スキンケアと3章まとめ	スキンケアと3章まとめ				
第6回	6	肌の老化とケア	肌の老化とケア				
第7回	7	自然老化と種類	自然老化と種類				
第8回	8	シワ	シワの原因と手入れ				
第9回	9	しみ	しみの原因と手入れ				
第10回	10	その他の老化現象	その他の老化現象				
第11回	11	4章まとめ	4章まとめ				
第12回	12	センター試験問題集	センター試験問題集				
第13回	13	テストの話	テスト対策				
第14回	14	期末テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説と後期の説明				
初回持ち物		教科書(②皮膚科学)					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品学		クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		吉田 里子				
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立		
目的及び概要		1年生前期の内容に加えて、ボディ用全般の化粧品や、成分についての知識を深めて説明できるようになる。				
到達目標		お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		⑤化粧品学				
<授業計画>		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	昨年の復習とボディ用品			
第2回	2	ボディ用品①	浴用料、ボディスキンケア			
第3回	3	ボディ用品②	スリミング剤、紫外線ケア			
第4回	4	ボディ用品②	制汗・防臭・脱毛剤・まとめ			
第5回	5	香料①	香りを必要とするか			
第6回	6	香料②	分類とその種類			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	化粧品の原料とは	化粧品の成分の分類			
第11回	11	油性原料	油性原料			
第12回	12	水性原料	水性原料			
第13回	13	その他の成分	期末テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	保湿剤について			
初回持ち物		教科書(⑤化粧品学)				
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品学		クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		吉田 里子				
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立		
目的及び概要		化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。				
到達目標		お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		⑤化粧品学				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	植物抽出エキス	自然成分とは			
第2回	2	界面活性剤	乳化と品質維持			
第3回	3	着色料	色材について			
第4回	4	その他の成分	粘度調整、成型成分			
第5回	5	薬剤①	効果の認められる成分			
第6回	6	薬剤②	特定の効果成分と配合			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	販売練習	ケースバスタディ			
第11回	11	販売練習	ケースバスタディ			
第12回	12	デモンストレーション	専門用語を使わない基礎化粧品説明			
第13回	13	デモンストレーション	品数多く購入するトーク&メイク用品演習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	化粧品学まとめ			
初回持ち物		ノート、教科書(化粧品学)				
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		サロンマネジメント&法規		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		吉田 里子					
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要		会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標		社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		サロンマネジメント&法規					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割				
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容				
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業				
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側				
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集				
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か				
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律				
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法				
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは				
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス				
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用				
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について				
第13回	13	問題集	テスト対策				
第14回	14	テスト	期末テスト				
第15回	15	返却	解説とまとめ				
初回持ち物		サロンマネジメント&法規の教科書					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		販売心理学		クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位
担当講師		吉田 里子				
		実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立		
目的及び概要		自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。				
到達目標		将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの			
第2回	3・4	常識とは	満足と不満足・常識と非常識			
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方			
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール			
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品			
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い			
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について			
第8回	15・16	営業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは			
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わること			
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか			
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ			
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①			
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②			
第14回	27・28	期末試験	テスト			
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明			
初回持ち物		ノート・ルーズリーフ				
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		ist（杉山 智明 ・ 森田茉凜）					
		実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要		決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標		知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	ヘアメイク業界について	ヘアメイクの種類や必要なスキル、やりがいなど、業界について学ぶ				
第2回	4－6	ベースメイク	自然な肌作り、チーク、ハイライト、シェーディング				
第3回	7－9	アイブロウ	曲線、直線、骨格に合わせた眉の描き方				
第4回	10－12	曲線メイク	丸みや曲線を活かし可愛い印象のメイク実習				
第5回	13－15	直線メイク	角や直線を活かしクールな印象のメイク実習				
第6回	16－18	イエベメイク	イエローベースカラーを使ったメイク、印象の違い				
第7回	19－21	ブルベメイク	ブルーベースカラーを使ったメイク、印象の違い				
第8回	22－24	美人コンパス	美人コンパスの測定、イメージに合わせたデザインシート作成				
第9回	25－27	美人コンパス、似合わせメイク	判定結果に合わせた似合わせメイク実践				
第10回	28－30	美人コンパス、似合わせメイク	なりたいイメージに合わせてメイク実践				
第11回	31－33	オルチャンメイク	韓国メイクのポイントを学び実践				
第12回	34－36	チャイボーグメイク	中国メイクのポイントを学び実践				
第13回	37－39	カットクリース	カットクリースをできるようになる				
第14回	40－42	期末テスト練習(テーマ指定)	「REDグラデーションモードメイク」をテーマに試験練習				
第15回	43－45	期末テスト	「REDグラデーションモードメイク」をテーマに試験				
初回持ち物		筆記用具、ノート、メイク道具一式					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		ist (杉山 智明 ・ 森田茉凜)					
		実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要		決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標		知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	アイドルメイク	日本のアイドルメイクの特徴を学ぶ				
第2回	4－6	デザインメイク	デザインメイク理論				
第3回	7－9	モードメイク	アイメイクに柄を取り入れたメイクデザイン				
第4回	10－12	ハロウィンヘアメイク	カトリーナメイクで仮装して写真撮影				
第5回	13－15	スマホ撮影について	相モデルでヘアメイクし、3パターンの撮影をする				
第6回	16－18	年代メイクの流れ50年代ヘアメイク	マリリンモンローメイク				
第7回	19－21	60年代ヘアメイクメイク	ツイッギーメイク				
第8回	22－24	80年代ヘアメイクメイク	バブリーメイク				
第9回	25－27	2000年ヘアメイク代メイク	ギャルメイク				
第10回	28－30	舞台メイク	宝塚メイクを通して舞台メイクの特徴や男役女役の表現を学ぶ				
第11回	31－33	化粧品ブランドメイク	ブランドの歴史、コンセプト、メイクを分析し、メイクを行う				
第12回	34－36	化粧品ブランドメイク	ブランドメイクを実施し、分析結果の発表を行う				
第13回	37－39	雑誌分析	雑誌のリサーチ、デザイン作成、分析の内容について、ヘアメイク練習				
第14回	40－42	雑誌分析	相モデル2組目、実技、撮影、編集				
第15回	43－45	クリエイティブメイク	キャラクターメイク				
初回持ち物		ヘアメイク道具一式、筆記用具、ノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ヘアアレンジ			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		ist（杉山 智明 ・ 森田茉凜）					
		実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を 活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導 をすることができる。			
目的及び概要		1年次のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標		基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3	コテ巻きの見え方の違い		外巻き、内巻きの巻き方での見え方の違い(ウィッグ、相モデル)			
第2回	4－6	スパイラル巻き		細いコテを使ってスパイラル巻き(ウィッグ、相モデル)			
第3回	7－9	ウェーブ巻き、ヨシンモリ		32mmのコテを使用した巻き方(ウィッグ、相モデル)			
第4回	10－12	編み込みアレンジ		ロープ編み、編み込み、編み下ろし(ウィッグ、相モデル)			
第5回	13－15	シニヨン		ふんわり系(ウィッグ、相モデル)			
第6回	16－18	シニヨン		タイト系(ウィッグ、相モデル)			
第7回	19－21	カチモリ		アイロンやピンを使用したカチモリヘア(ウィッグ、相モデル)			
第8回	22－24	簡単ヘアアレンジ		込みや、アレンジを入れたスタイルを3パターン作成(ウィッグ、相モ			
第9回	25－27	ブライダルヘア		着たいドレスを調べてそれに合うヘアアレンジ(相モデル)			
第10回	28－30	ブライダルヘア		挙式スタイル～カラードレスへのヘアチェンジ(相モデル)			
第11回	31－33	眉スタイリング		眉スタイリングについて学ぶ、デモンストレーション			
第12回	34－36	フィンガーウェーブ		32mmコテを使用したフィンガーウェーブ(ウィッグ)			
第13回	37－39	アップスタイルアレンジ		ふんわり系、タイト系(ウィッグ)			
第14回	40－42	期末テスト練習(テーマ指定)		テーマに合わせてヘアアレンジを考え練習(相モデル)			
第15回	43－45	期末テスト		指定したテーマに合わせてヘアアレンジ(相モデル)			
初回持ち物		筆記用具、ノート、ヘア道具一式、ウィッグ					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ヘアアレンジ		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		ist（杉山 智明 ・ 森田茉凜）					
		実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要		前期のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標		基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	アイドルヘア	アイドルがやってるヘアを練習(ウィッグ、相モデル)				
第2回	4－6	ヘアアレンジ・ヘアアシスタントの仕方	3人1組でヘアアレンジをしながらアシスタントの役割を学ぶ				
第3回	7－9	和装ヘアアレンジ	和装ヘアの構成を学ぶ				
第4回	10－12	ハロウィンヘアメイク	カトリーナメイクのデザイン作成、メイクに合わせたヘアアレンジ				
第5回	13－15	スマホ撮影について	焦点距離を理解し、作品撮影をしてみる				
第6回	16－18	和装ヘアアレンジ	和装ヘアの構成を学ぶ				
第7回	19－21	コーンロウ	コーンロウのやり方、アレンジスタイル				
第8回	22－24	盛り髪	逆毛＋盛り髪(ウィッグ)				
第9回	25－27	盛り髪	逆毛＋盛り髪(ウィッグ、相モデル)				
第10回	28－30	推し活ヘアアレンジ	推し活のヘアアレンジを学ぶ				
第11回	31－33	期末テスト	ヘアアレンジの動画作成を行う				
第12回	34－36	期末テスト	ヘアアレンジの動画撮影・動画編集				
第13回	37－39	雑誌分析	雑誌のリサーチ、デザイン作成、分析の内容について、ヘアメイク練習				
第14回	40－42	雑誌分析	相モデル1組目、実技、撮影、編集				
第15回	43－45	似合わせヘアアレンジ	モデルに合わせたヘアアレンジ				
初回持ち物		ウィッグ・コーム・ブラシ類・タオル3枚、ダッカール4本、前髪ピン、シラバス、ノート、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイク検定対策			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	4 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位		前期	6 単位	後期	-	2年合計単位	6 単位
担当講師		羽鳥 美保					
		実務経験	有	メイクアップアーティスト・美容部員・ファッションコレクションなどのバックヤードなどのメイクアップの経験を踏まえ、カウンセリングやメイクアップの基本と応用・コミュニケーション力を伝えていく			
目的及び概要		JMA(メイク検定)1級合格に向けて学習 イメージメイクアップの技術はもちろん、お客様やモデルのご要望やなりたいイメージをカウンセリングにて引き出し、顔分析を行いイメージに仕上げる為のメイクポイントなどアドバイスできるように学習する					
到達目標		JMA検定1級合格を目指し、これから社会へ出ることを念頭に、コミュニケーション力のある信頼される美容部員、メイクアップアーティストになることが目標					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－6	顔の印象分析		JMA1級について・イメージ分析と顔分析1・スキンケア・ベーステクニック			
第2回	7－12	メイクアップ視覚効果		顔分析2・肌の質感/ツヤとマット・形/視覚効果とは？			
第3回	13－18	曲線と直線 イメージメイク理論		顔のパーツ分析・イメージメイク理論(形・色・質感)			
第4回	19－24	キュートメイク・カウンセリング		キュートメイクまとめ ・カウンセリング～顔分析～キュートメイク			
第5回	25－30	フレッシュメイク・アドバイスシート		キュート・フレッシュメイクデザインシート・カウンセリング～フレッシュメイク			
第6回	31－36	エレガントメイク・強弱		エレガントメイクデザインシート・カウンセリング～エレガントメイク			
第7回	37－42	クールメイク・強弱		クールメイクデザインシート・カウンセリング～クールメイク			
第8回	43－48	修正メイク・アイブロウメイク強化		メイクプランとアドバイスシート・アイブロウメイク強化			
第9回	49－54	ポイントメイク応用		立体アイメイク・修正メイク・リップメイク強化			
第10回	55－60	事前審査までテスト		事前審査までテスト・ポイントメイク練習(苦手強化)・印象分析と顔分析まとめ			
第11回	61－66	JMA1級検定対策		タイムトライアル トータル実習			
第12回	67－72	JMA1級検定対策		JMA1級検定模擬			
第13回	73－78	期末試験1		期末試験1＜JMA1級期末試験・模擬＞ 【7/9(水)】			
第14回	79－84	期末試験2		期末試験2＜JMA1級期末試験・模擬＞ 【7/16(水)】			
第15回	85－90	JMA1級検定試験		JMA1級検定試験 【7/23(水)】			
初回持ち物		JMA1級テキスト、3・2級テキスト、検定用メイク道具一式、15cm定規、ipad、付箋用紙(メッセージが記入できるサイズ)、筆記用具、ノーメイクで参加					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		スタジオ撮影プロジェクト			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	5 単位	後期	5 単位	2年合計単位	10 単位
担当講師		浅岡 久美 ・ 石毛 彩花					
		実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストとしての経験を活かし、スチール・ムービー撮影、ファッションショー、ブライダルなど幅広いヘアメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要		作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標		テーマにあったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－5	ラグゼコンテストについて	内容説明、出品までの流れ、過去の作品				
第2回	6－10	デッサンの仕方	過去の作品をもとにデッサンを作成してみる				
第3回	11－15	コンテストメイク	前回のデッサンをもとにメイクしてみる、つけまつげのつけ方など				
第4回	16－20	コンテストヘア	前回のデッサンをもとにヘアを作ってみる、ウィッグ下地の作り方				
第5回	21－25	コンセプトシート作成1	コンテスト用デッサン作成				
第6回	26－30	コンセプトシート作成2	〃				
第7回	31－35	メイク練習	デッサンをもとにメイク練習				
第8回	36－40	ヘア練習	デッサンをもとにヘア練習				
第9回	41－45	装飾品作成	装飾品作成、期末に向け準備				
第10回	46－50	期末テスト練習(前半)	期末テストのヘアメイク練習				
第11回	51－55	期末テスト練習(後半)	〃				
第12回	56－60	期末テスト(前半)	撮影リハーサル練習をかねて				
第13回	61－65	期末テスト(後半)	〃				
第14回	66－70	最終調整1	ヘアメイク練習や装飾品修正個所などの確認				
第15回	71－75	最終調整2	スチール撮影につて、注意事項など				
初回持ち物		筆記用具、メイク用品一式(デッサンを描ける準備、メイクは行いません)、ipad					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト		○	実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		スタジオ撮影プロジェクト			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	5 単位	後期	5 単位	2年合計単位	10 単位
担当講師		根本 夏味 ・ 吉永 由					
		実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要		作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標		テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－5	ラグゼ作品セレクト	ITルームにて作品セレクト、反省 学園祭に向けて				
第2回	6－10	学園祭①	デッサン、デザイン考案				
第3回	11－15	学園祭②	製作、練習				
第4回	16－20	学園祭③	製作、練習				
第5回	21－25	学園祭④	製作、練習				
第6回	26－30	卒業制作①	学園祭反省、卒業制作考案				
第7回	31－35	卒業制作②	HM練習＋制作				
第8回	36－40	卒業制作③	製作、練習				
第9回	41－45	卒業制作④	リハーサル①				
第10回	46－50	卒業制作⑤	リハーサル②				
第11回	51－55	作品セレクト＋日本のメイク	ITルームにて作品セレクト、反省				
第12回	56－60	クリエイティブメイク	デザイン性のあるメイク				
第13回	61－65	期末テスト練習	ヘアメイクイメージ構成 ウィッグヘアメイクコンテスト				
第14回	66－70	期末テスト	【ウィッグヘアメイクコンテスト】				
第15回	71－75	ギャルメイク	コンテスト結果発表年代別ギャルHM				
初回持ち物		ヘアメイク道具一式、筆記用具、メイクノート					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト		○	実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ショー＆コンテスト講座		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師		篠あけみ					
		実務経験	有	パリ・コレクションを始め様々なコレクションへ出演。モデルスクールで後進の指導にあたるほか、一般企業向けのファッションショーのプロデュースや、一般人向けのセミナー等の活動も行っている。			
目的及び概要		各会社の中でのイメージアップ 女性としての知識力向上ときれいな立ち振る舞い					
到達目標		責任感と達成感					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	知識	ファッションの成り立ち きれいに見えて健康的な体の使い方・姿勢等				
第2回	2						
第3回	3						
第4回	4	センス	撮影のためのドレス選び 白物または色物どちらか1点				
第5回	5						
第6回	6						
第7回	7	対応力	ドレス撮影 撮影をする時のきれいに見えるコツなど				
第8回	8						
第9回	9						
第10回	10	状況把握力	椅子の座り方 ジャケット・コートの正しい脱ぎ方・たたみ方 ウォーキング				
第11回	11						
第12回	12						
第13回	13	持続力	筆記試験 実技試験 ウォーキング				
第14回	14						
第15回	15						
初回持ち物		ノート、ペン					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		メイクカウンセリング		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		富田里恵子					
		実務経験	有	認定メイクセラピストとして、個人及び企業向けに印象アップのメイク術を伝えている。メイクセラピー検定1級の知識と技術を、学生の成長と可能性を支援するマインドで指導する。			
目的及び概要		メイクセラピーの学びを通じ、カウンセリングにおいて必要なクライアントとの接し方、基本姿勢とマナーを身につける。受容的態度と傾聴スキルのトレーニングで受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドを育て、錯視効果や色彩理論を用いたメイク技術の向上を目指す。					
到達目標		相手との信頼関係を築ける温かみのあるコミュニケーションスキルと、要望を引き出すカウンセリングにおける基本姿勢、印象を理論的に分析して必要なメイクを提供できるメイク技術を強化する。メイクセラピー検定1級に合格する。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	オリエンテーション	2級の復習・1級検定について・カウンセリングの流れ				
第2回	4－6	カウンセリング＋メイク実習	ラポールの構築・傾聴トレーニング①・メイク実習				
第3回	7－9	カウンセリング＋メイク実習	傾聴トレーニング②・メイク実習				
第4回	10－12	カウンセリング＋メイク実習	傾聴トレーニング③・メイク実習				
第5回	13－15	筆記対策	事例研究・論述問題				
第6回	16－18	検定対策①	筆記練習・メイク模擬(パターン1)・マナー対策				
第7回	19－21	検定対策②	筆記練習・メイク模擬(パターン2)・マナー対策				
第8回	22－24	検定対策③	筆記練習・メイク模擬(パターン3)・マナー対策				
第9回	25－27	期末試験(検定模擬試験)	筆記模擬・実技模擬・検定当日の注意事項				
第10回	28－30	メイクセラピー検定1級試験	筆記試験・実技試験				
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
初回持ち物		メイクセラピー検定対策2級と1級のテキスト・筆記用具・メイク道具一式					
成績評価方法		・出席率	定期試験		筆記試験		
		・定期試験や小テスト		○	実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		和装着付け			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師		浅岡 久美					
		実務経験	有	ヘアメイクアップアーティスト、着付け師の立場から、撮影、ブライダル、スタジオでの経験をふまえ、ヘアアレンジと着付けの基本を伝える。			
目的及び概要		浴衣の着付けを基礎から学び、最終はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアメイクを施し和装のコーディネート学びます。					
到達目標		和装の着付けを他人にも自分にもできるようになり、和装のヘアメイクの提案ができるようになる。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3	着物の基礎知識		小物について、着物の部位、たたみ方など、ゆかた選びなど			
第2回	4－6	浴衣の着付け1		相モデルで浴衣の着せ方			
第3回	7－9	浴衣の着付け2		相モデルで浴衣の着せ方			
第4回	10－12	浴衣自装1		自分で着る方法			
第5回	13－15	浴衣自装2、ヘアアレンジ1		復習、ウィッグでヘアアレンジ			
第6回	16－18	ヘアアレンジ2		相モデルで浴衣向けのヘアアレンジ			
第7回	19－21	夜会1		基本のアップスタイル			
第8回	22－24	夜会2		基本のアップスタイル			
第9回	25－27	浴衣の着付け3		相モデルで着付けの復習			
第10回	28－30	期末テストに向けて		ヘアメイクデッサン画作成			
第11回	31－33	期末テスト練習（前半）		着付けヘアメイク練習			
第12回	34－36	期末テスト練習（後半）		〃			
第13回	37－39	期末テスト（前半）		着付けヘアメイク、たたみ方のテスト			
第14回	40－42	期末テスト（後半）		〃			
第15回	43－45	着付色々		着物による着付けの違い			
初回持ち物		補正用タオル2枚（フェイスタオルサイズ、色物・柄物でもOK）					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション（提出物）	
成績評価 基準（右記合計点）			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90％以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85％以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80％以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80％以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		パーソナルカラー検定対策		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		色彩活用研究所(株) 黒川 裕子					
		実務経験	有	各種専門学校において、色彩検定、パーソナルカラー検定を10年以上指導。企業様や団体様に向けて、セミナーやイベントなども多数開催している。			
目的及び概要		☆ 美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。 自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色やパーソナルカラーの基本から取り入れ方まで、カラーワーク、コラージュ作成などの演習を通して身につけ表現力を養います。 検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施し、理解度の確認をしていきます。					
到達目標		色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。 色彩活用パーソナルカラー検定3級取得を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1・2	オリエンテーション 色彩の基本①		パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性と色相環。カラーワーク演習			
第2回	3・4	色彩の基本②		トーン(しくみ、イメージ)			
第3回	5・6	パーソナルカラーの色分類①		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について①			
第4回	7・8	パーソナルカラーの色分類②		パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について②			
第5回	9・10	色名・色素とは		色名、色素について			
第6回	11・12	色素と似合う色の関係①		色素の見方①			
第7回	13・14	色素と似合う色の関係②		色素の見方②			
第8回	15・16	色素と似合う色の関係③		色素の見方③とまとめ(自分の色素について)			
第9回	17・28	似合う色と似合わない色について		似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第10回	29・20	ドレーピング実習		ドレーピング実習			
第11回	21・22	似合う色の見え方の理由		対比・同化、面積効果			
第12回	23・24	似合う色の取入れ方		似合う色の取入れ方、ポイント			
第13回	25・26	検定対策		期末テスト、検定に向けて総まとめ			
第14回	27・28	期末テスト		期末テスト			
第15回	29・30	期末テスト返却・振り返り		返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物		教材一式全4点(①パーソナルカラー検定公式テキスト3級、②公式問題集 ③新配色カード199用演習用台紙(ピンクの袋ごと)、④新配色カード199)、はさみ&のり、筆記用具 * 全て使用します！					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		化粧品検定			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		本多 誓子					
		実務経験	有	日本化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。 美容師としての実務経験を活かし美容の知識を幅広く指導し、化粧品検定合格へと導く。			
目的及び概要		化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標		日本化粧品検定1級 取得					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		テキスト					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	化粧品原料と基本知識①	化粧品に使われる原料について①				
第2回	2	化粧品原料と基本知識②	化粧品に使われる原料について②				
第3回	3	化粧品原料と基本知識③	スキンケア化粧品①				
第4回	4	化粧品原料と基本知識④	スキンケア化粧品②				
第5回	5	化粧品原料と基本知識⑤	男性肌の特徴・メイクアップ化粧品の基本となる原料・UVケア化粧品・ベースメイクアップ化粧品				
第6回	6	化粧品原料と基本知識⑥	ポイントメイクアップ化粧品・アイメイクアップ化粧品				
第7回	7	化粧品原料と基本知識⑦	ボディ化粧品について				
第8回	8	化粧品原料と基本知識⑧	毛髪と頭皮の構造と機能・毛髪の変化とトラブル・ヘアケア化粧品について				
第9回	9	化粧品原料と基本知識⑨	爪の構造と機能・ネイル化粧品とお手入れ方法・嗅覚のしくみと香りの種類				
第10回	10	化粧品原料と基本知識⑩	口腔と歯の構造・サプリメントの基礎知識				
第11回	11	化粧品にまつわるルール①	化粧品と薬事法・化粧品・薬用化粧品・ 医薬部外品の効能と効果・化粧品の広告やPRのための 表示ルール・化粧品の全成分				
第12回	12	化粧品にまつわるルール②	化粧品の安全性を守るためのルール・化粧品の安全に保つために ・化粧品と肌トラブル・化粧品の官能評価・官能評価の実施例				
第13回	13	2級復習	解説と検定対策(おさらい)				
第14回	14	1級試験復習	解説と検定対策(おさらい)				
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定1級 受検				
初回持ち物		2級・1級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具					
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名		カラーデコレート			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		岡永めぐみ					
		実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有する。			
目的及び概要		メイクにおいて必要なカラーの知識を学ぶ。ファッションの知識も学ぶことでファッションとメイクのバランスを考えながらメイクを施すことが出来る。またパーソナルカラーの知識をもとに、ベースカラーをマスターすることで、お客様にあったカラーやイメージ別・シーン別に合わせた提案をすることが出来る。					
到達目標		・ファッションに合ったメイクをすることが出来る ・パーソナルカラーのベースカラーから似合う配色を理解することが出来る ・季節・イメージ・シーン別に応じたメイクを施すことが出来る					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1・2	自分マップ作成		イラストや色を使って自分マップを作る			
第2回	3・4	基本用語の復習		色彩用語の基本的知識の復習			
第3回	5・6	配色1		色相から配色を考える			
第4回	7・8	配色2		トーンから配色を考える			
第5回	9・10	アンダートーンを知る		パーソナルカラーの知識をもとにアンダートーンの違いを理解する			
第6回	11・12	アンダートーンを基にした配色		アンダートーンをもとに配色を考える			
第7回	13・14	配色3		イメージ別に配色を考える1			
第8回	15・16	配色4		イメージ別に配色を考える2			
第9回	17・28	ファッション1		自分の骨格やタイプを知る			
第10回	29・20	ファッション2		様々なファッションタイプを知る			
第11回	21・22	混色		色相環やトーン図を用いて混色を学び、パレットを用いて色を作る			
第12回	23・24	テーマに合わせたメイクボード作成1		ファッションに合ったメイクボード作成1			
第13回	25・26	テーマに合わせたメイクボード作成2		ファッションに合ったメイクボード作成2			
第14回	27・28	試験		試験			
第15回	29・30	返却・メイクボード発表		試験返却・、メイクボード発表			
初回持ち物		筆記用具、カラーカード199、はさみ、のり					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		資格選択授業ネイル検定		クラス名	R2D		
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師		大久保 香織					
		実務経験	有				
目的及び概要		幅広い分野で活躍できるよう総合美容を目指しネイル技術を学習する。 主流となっているジェルネイルの知識と技術を習得し資格取得を目指します。					
到達目標		NPO法人日本ネイリスト協会ジェル検定技能試験初級合格					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	初級要項確認	初級要項確認				
第2回	4－6	初級編	ジェルについて、筆記問題解説				
第3回	7－9	初級試験対策 実技 ジェルの塗り方	カラーリング				
第4回	10－12		ピーコック・オフ				
第5回	13－15		通し練習				
第6回	16－18	初級試験対策 試験要項実技練習	60分タイムトライアル練習 プレパレーション～ポリッシュ塗布～ ジェル塗布～ピーコック				
第7回	19－21						
第8回	22－24						
第9回	25－27						
第10回	28－30						
第11回	31－33						
第12回	34－36	期末試験	期末試験				
第13回	37－39	検定試験	検定試験				
第14回	40－42	ジェルカラーリング・トレンドアート	赤以外のジェルカラーリング・ジェルアートのチップ作成				
第15回	43－45						
初回持ち物		筆記用具、ジェル検定初級で使用する用具一式					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		資格選択授業 アロマ検定			クラス名	R2D	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	-	後期	3 単位	2年合計単位	3 単位
担当講師		安齋 孝子					
		実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイント を現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要		必要な基礎理論と職場で役立つ知識、安全に活用できる実践的な方法を学びます。2024年度実施 の日本アロマコーディネーター協会認定「アロマコーディネーター」試験に対応した授業です。アロマ コーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ、楽 しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。					
到達目標		香りに対する理解を深めながらハンドクラフトのアイデアも養い、将来クライアントに最適なアドバイ スができる人材に育成し、最終的に認定試験合格を目指します。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		指定テキスト2冊及び適宜ハンドアウトを配布					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－3	精油の扱い方		オレンジ・グレープフルーツ・ベルガモット・レモン （芳香浴）			
第2回	4－6	精油の抽出方法		ティーツリー・パチュリー・ユーカリグロブルス （バスソルト）			
第3回	7－9	キャリアオイルの種類		サイプレス・ジュニパー キャリアオイルの種類 （トリートメントオイル）			
第4回	10－12	ブレンドの計算		ブレンド方法 イランイラン・ジャスミン・ローズ(アロマローション)			
第5回	13－15	脳と嗅覚のしくみ		小テスト・カモミールローマン・カモミールジャーマン （フェイスパック）			
第6回	16－18	香りの歴史		小テスト・フランキンセンス・ベンゾイン・ミルラ （ハンガリーウォーター）			
第7回	19－21	精油の安全性と危険性		小テスト・カルダモン・メリッサ・レモングラス （ボディソープ）			
第8回	22－24	トリートメント・生理学		小テスト・ネロリ・ヤロウ （フェイス美容オイル）			
第9回	25－27	香りの心理作用		クラリセージ・ゼラニウム・ラベンダー・マージラム(ルームフレグランス)			
第10回	28－30	精油と生理学		ブラックペッパー ボディ・フェイシャルトリートメント(ボディ用オイル)			
第11回	31－33	法令		小テスト・ペパーミント・マージラム・ローズマリー(ハンドクリーム)			
第12回	34－36	精油の化学		サンダルウッド・シダーウッド 精油の成分を類ごとに知る(マウスウォッシュ)			
第13回	37－39	総復習		小論文			
第14回	40－42	期末試験		授業内範囲から出題			
第15回	43－45	期末試験返却		香水作成			
初回持ち物		2年生はノート(B5サイズ) 1年生はipad ※ルーズリーフNG 色鉛筆 指定テキスト2冊					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				